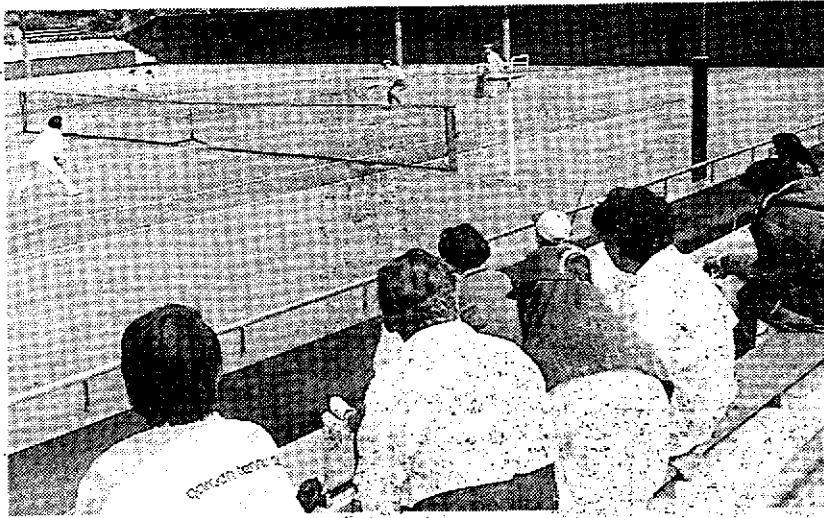


# えひめ



1球ごとに一喜一憂したシニアテニス四国支部大会

## 老いてますます テニスで集う

シニア連盟  
四国支部発足

日本シニアテニス連盟四国支部（大野義明支部長、約百五十人）の発足式が十七日、川之江市金生町の市営テニスコートであり、第一回設立記念大会を開いた。毎年四月に、同コートで支部大会を開く。

### 川之江で記念大会

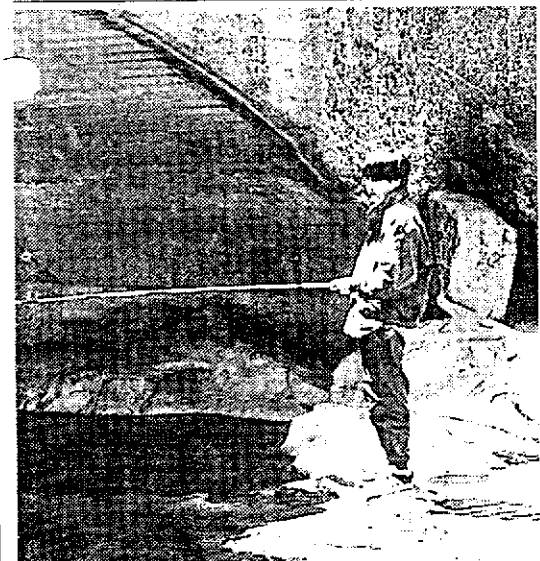
同連盟（鈴木義一会長、約三千六百人）は平成四年に設立。現在、全国を九ブロックに分けて支部の設立が順次進められており、四国は五支部目。加入資格は男子六十歳以上、女子五十

歳以上で、試合はダブルスで実施する。

大会には四国四県から百二十人（県内約四十人）が参加。選手らはコート狭しと走り回り、さわやかな汗を流した。最高齢者の小松

五郎さん（八色）は高知市でも「生涯スポーツにはテニスが一番」とハッスル、四試合を難なくこなしていた。

大野支部長は「テニスは高齢者と現役が同じルールで戦えるスポーツ。四県の人を手を携えて楽しい人生を送ってほしい」と話していた。



問い合わせは、松山市高野町六五ノ一五、戒田泰男副会長に電話089（977）4282。  
優勝者は次の通り。  
男子六十歳代 向井達夫、大井弘（香川）▽同六十五歳代 山崎左内、岡崎秀之助（高知）▽同七十歳以上 戒田泰男、亀井英男（愛媛）▽女子五十歳代 曾我部裕子、黒川幸子（徳島）▽同五十五歳代 大岩鳥子、高橋清子（愛媛）▽

本格的な行楽シーズンを、河溪前に、上渾六郡面河村の面まっ

さお先にマス・  
面河溪の釣

同六十歳代 西村精子、勝一歳以沼栄子（徳島）▽同六十五歳代

言

ーン、サツマイモ